

## Japanese Written Task 1 「日本語と社会構造」

### 《ラショナーレ》

この文は、とある会社の社長からの、会社の名前変更についての会社掲示板への投稿文である。グローバル化が進んでいく現代社会で、会社という、縦社会の構造を持つ集団がどのように対応するかを表し、現実のあらゆる集団へ例として挙げることがこの文の目的である。そのため、集団の名前、つまり会社の社名が持つ象徴性、また、社内掲示板の投稿文・コメントという形での、会社内の地位による言葉の使い方を表したいと思う。

「名前」という言葉の概念は、それぞれの文化で違う。日本では、会社名は創設者・地域名などが用いられ、集団の歴史・由来を象徴する。このように、社名に歴史を含んだり、リーダーの設立者の家族名を使う理由は、会社全体を家族として考えるからである。「内の社では…」、「我が社では…」などの言葉使いから、会社と言う集団は日本文化で内の集団、家族組織として捉えられていることがわかる。

社員全員に対する投稿文本文では、社長でも、硬い敬語を使う。これとは違かなり、個人的な会話が可能なコメント欄では社長の敬語の使い方が緩くなる。しかし、目下のマーケティング部長から社長への返事は、個人的であろうとも丁寧な挨拶から始まり、丁寧な敬語を使う。また、社長には敬語を使う戸田部長が、一般社員の佐田に対しては「…ますよ。」、「…お願いしますね。」と言うことから、同じ人も目上・目下に対する言葉使いが違うことがわかるだろう。

### 《本文》

—————タイトル：＜重要＞社名変更につく説明—————

投稿者：加藤倫太郎

更新日：2017-11-30

親愛する社員の方々へ、

1967年に初代会長加藤健介によって設立された我が加藤電気工業は、50年間、いくつかの危機を乗り越え、この時点までたどり着きました。過去50年間、我が社は、日本の電気工業産業の先導者として活躍しており、今現在は太陽光発電、ナノテクノロジーなどの最先端技術を用いた製品を提供する企業へと成長しています。

今年で50周年を迎えた内の社は、今年から、新たな市場、新たな顧客層を目指して進む計画を持っています。その第一段階として、我が社の新しい名前を紹介したいと思います。日本電気工業の新たな名前は、Next Electronics、NESです。また、スローガンは、「未来を支える」、英語では「Supporting the Future」であります。

社名変更の理由は大きく、次の2つに分けられます。世界市場での競争力確保、そして新たな顧客層からの認知度の上昇、であります。

私たちの会社は、今までのところ、日本内の市場で競争してきました。しかし、グローバル化、自由貿易の発展で、マルチナショナル会社が増えています。このため、日本内だけでの取引・販売には限界があると見込まれます。これにより、私たちは、より大きい市場に進出する必要があります。

我が社は、今年の初、初めて海外との取引契約を成立しました。その上、今年末までに、中国、韓国などで事務所を開く予定であり、来年末までには、米国、欧州の国まで進出する計画を持っています。また、顧客層を企業だけでなく、一般消費者まで拡大することも検討中です。販売製品として、家庭用太陽光発電パネル、消費者向けパソコン部品、などの製品の開発を進めています。その上、新しいマーケティング部の勧誘、通信販売経路の確保で、当社の製品を一般消費者に直接販売する計画も検討中です。

新しい市場に進出するためには、我が社のアイデンティティを確保することが大事です。既存の名前は、このような新しい環境に見合わないと思えます。「加藤電気工業」という名前は、当社の歴史や設立などに着く意味合いがありますが、これだけが我々のアイデンティティではありません。私たちが目指すビジョン、方向性を含んだ、象徴的な名前とスローガンの必要性があります。私たちの新しい名前、NESは、最先端、「次の時代」のテクノロジーを開発する企業であることを象徴します。

また、一般顧客向け商品の販売には、ブランドや認知度が重要です。簡略でユニークで、消費者が容易に受け入れることができる名前が必要です。既存の日本の名前は、あまりに平凡で、日本的な名前であります。国内企業などには簡単に受け入れることができる名前ですが、一般消費者、または世界の顧客には難しい名前です。欧米圏の会社名は、オリジナルで独特な、会社のブランドを表します。当社の新たな名前はこのようなことを考慮し作られ、会社のブランドアイデンティティとして、新しい市場と顧客層にアピールできるでしょう。

我が社は、長年、日本の電気工業産業で高い地位を保ち続けてきました。これは、我々の結束力、つまり、社員の皆さんが、「加藤電気工業」の一員としたアイデンティティを持ち、努力し続けてきた結果だと、私は思います。会社が新たな一步を踏み出すこの瞬間に、このような心持ちはとても大切です。この先の50年も、みなさんと一緒に、私たちの会社を進歩させていく心持ちはあります。

社長 加藤倫太郎

————コメント————

——投稿者：戸田 健二

お忙しい中、丁寧な説明を書いていただき、ありがとうございます。社名の変更は、社内で色々噂になっていたのですが、直接社長から説明をいただき、スッキリしました。今後も、NESの社員として、頑張っていきます。

└─投稿者：加藤 倫太郎

社名変更みたいな大事はことは、私から直接言っておくのが責任かと。  
戸田さんも、新たなマーケティング部長として、頑張ってくださいませね。（笑）

└─投稿者：戸田 健二

ご返事ありがとうございます。  
承知しました！ 今後も、何卒よろしくお願い致します。

——投稿者：佐田 啓司

ご説明ありがとうございます。こちらこそ、よろしくお願いします。  
新設のマーケティング部のことなんですが、戸田さんのチーム全員の部署移動という意味でしょうか。

└─投稿者：戸田 健二

具体的な部署移動などについては、今後人事課からのメールが出ると聞いてますよ。その方を参考してください。  
あと、投稿文に直接関係ない質問は担当者へのPMをお願いしますね。